

地域活性化伝道師プロフィール		分野	◎	○
		地域産業・イノベーション・農工商連携	◎	農・林・水産業
		地域医療・福祉・介護・教育	○	観光・交流
		地域コミュニティ・集落再生	○	環境
		地域交通・情報通信	○	まちづくり
ふりがな	やまかわ すずむ			
氏名	山川 進			
所属	名称	鳥羽観光会館ビル株式会社/ローカルルネッサンス		
	役職	顧問/代表		
連絡	住所	(公開)	〒 517-0011	
		(非公開)	三重県鳥羽市鳥羽1-2383-13 (職場)	
	連絡先	(公開)	E-Mail info[アットマーク]toba1ban.co.jp	
		(非公開)	TEL -	FAX -
連絡方法	E-Mailでお願いします			
略歴	<p>1977年 名城大学薬学部薬学科卒業 1994年 企業立地課主査として企業誘致を担当 1997年 企業立地課東京都駐在主幹として企業誘致を担当 2000年 企業立地課福岡市駐在副参事として企業誘致を担当 2001年 北勢県民局企業振興監として北勢地域の工業振興、観光振興を担当 2002年 北勢県民局商工業振興チームマネージャーとして工業振興、観光振興を担当 2002年 特区推進プロジェクトグループ副参事として構造改革特区を兼務 2003年 産業集積推進チームマネージャーとして構造改革特区の申請、産業集積の推進を担当、「地域産業おこしに燃える人」に選定 2006年 農水商工部総括室長として商工・科学技術分野を担当 2009年 農水商工部理事(財団法人三重県産業支援センター副理事長) 2011年 農水商工部理事 2012年 雇用経済部長 2014年 三重県職員研修センター特任教授 2014年 公益財団法人三重県産業支援センター理事長 2019年 桑名三重信用金庫理事長特別顧問 2023年 鳥羽観光会館ビル株式会社顧問/ローカルルネッサンス代表</p>			
著作・論文等	無し			
取組概要	<p>・「企業誘致」…製薬会社、外資系企業など大型企業誘致を実現。東京、福岡において「SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)形態」での企業誘致活動を行い、企業・行政との新たなネットワーク構築を行う。</p> <p>・「新たな企業投資促進制度の創設」…マイレージ制度、マザー工場化の促進などを柱とする新たな制度を創設し、県内への企業投資を促進。</p> <p>・「コンビナートの再生」…行政・産業界が協働した、規制改革や新たな産業展開の内容をパッケージとし、構造改革特区に申請、第1号認定を受けることに尽力する。</p> <p>・「様々な連携」…「地域発のオープン・イノベーション創出」を行う「高度人材イノベーションセンター(AMIC)」を三重県四日市市に設置。地域の産業構造の「知識集約型産業構造」への転換を目指す。ここで、現在も異業種・同業種連携、大企業と中小企業の連携、各種課題解決、産育人材の育成などを行っている。</p> <p>・「温泉街の活性化」…三重県菟野町の湯ノ山温泉にて、各業者での取組を地域一丸となったものへとコーディネートし、「女将の会」結成などにつなげる。</p> <p>・「町おこしリーダー研修」…三重県紀北町の町おこしリーダー研修にてアドバイザーを務め、研修生の成果を行政や地元産業界とも連携した継続的な取組へと繋げる。</p> <p>・「中小企業連携(シンジケート)の促進」…複数ものづくり中小企業が得意とする技術やノウハウを結集し、技術レベル向上や新たなマーケット開拓などにつなげるための中小企業連携体の構成に尽力。三重県には全国トップクラスの連携体が構成されるに至っている。</p> <p>・「三重県海外ビジネスサポートデスクの開設」…成長する新興国等の市場を取り込むため、中小企業の海外展開を支援する「海外ビジネスサポートデスク」(中国、ASEAN)の設置に尽力。</p> <p>・「三重県と北海道との産業連携」…『「三重県・北海道」産業連携推進会議』の設立に尽力。三重県と北海道の「ものづくり技術」と「地域資源」の連携を進め、新たなビジネスの創出、さらには地域経済の活性化に繋げる。</p> <p>・「首都圏営業拠点「三重テラス」…東京日本橋において、三重県の魅力を総合的に発信する拠点「三重テラス」の開設に尽力。</p> <p>・三重県中小企業・小規模振興条例の策定に尽力</p> <p>・職員研修センターで県職員向けの研修を実施。三重県職員の人づくりの参画、三重県の商工部門の第1人者として活躍した経験を基に、自ら研修講師として三重県職員に語りかけることで、現場を大切にしている職員を育成。</p> <p>・経済産業省の「ひとづくりの切磋琢磨による地域創生実行会議」の委員として参画。</p> <p>・沖縄県と連携して、沖縄の物流特区を活用した東アジア戦略を模索するほか、他地域との連携を検討中。さらに地域のコアとなる中小企業との連携を深めて、海外への販路拡大や現地での人材育成の取組を進める。</p> <p>・各地の事業者や産業支援機関と連携し、地域商社等を通じた地域産品の販売や中小企業が連携した新たなビジネスや人材交流を促進。</p>			
メッセージ	<p>「ネットワーク」×「連携促進」＝「元気な地域づくりの推進」 ～地域づくりは「人間性」、「人間力」、「自分の生き様」が問われる世界～ 「地域づくり」は「地域資源の発掘」と「人づくり」が重要。地域に「ないもの」を探すのではなく、地域に「あるもの」を再発見する(価値を見出す)こと。地域の方が共に創る「共創」であること。地域の資源は「地域の人そのもの」である。</p> <p>また、地域が対象とする顧客について、選ばれた時代から選ぶ時代になりつつあると感じる。「顧客」＝売り手のストーリーに共感していただける方ではないか。この売り手と買手の共感が起こるような仕組みを考えていきたい。地域に行ってみたくなるようなもの、つまり、地域そのものを「映画本編」としたとき、その地域に魅力を感じさせるような「映画の予告編」にあたるものを地域の方が仕掛けられるようにできないか。</p> <p>これらを踏まえて、我々の役割は「player」ではなく、「ネットワーク機能」を発揮すること。様々な取組や人材を、自らが持つネットワークで、「繋ぎ込み」、「組み合わせ」、さらにそれらが新たな機能や効果を発揮するよう「コーディネート」することである。さらに「自らが動き、行動すること」が重要で、そこから新しい発想が生まれる。行動することは、自らを「鍛える」とともに、「新たな知識の吸収」でもある。経済・社会を取り巻く状況が厳しいなか、今後は「地域」自らが、単体ではなく、広域的に「連携」して地域づくりに取り組むことがポイントとなる。「連携」は、「人」の「ネットワーク」を生み、さらには相乗効果的な「ネットワークの拡がり」を生み出す元気な地域づくりの原動力である。</p>			
関連ホームページ	無し	活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
※ 依頼・相談に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。